

1. 科目名 (単位数)	音楽 (幼) / 音楽 (保育士) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1140						
2. 授業担当教員	高木 麻衣子								
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>保育における音楽活動の指導で求められる知識, 技術を身につけ, 理解を深める。保育現場では歌唱指導はもちろん合奏指導、リズム活動など様々な音楽活動やその指導において鍵盤楽器が使用されるため, それなりの演奏技術を身につけなければならない。具体的には「音楽」では子どもの歌を歌うのに必要な発声法, ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌唱指導する能力を習得する。また, これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができる。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ①ピアノ実技：レベル毎に課題曲を提示するので、練習をし、次回対面授業までに弾けるようにすること。 ②音楽理論：ほぼ毎回単元別の練習問題を提示するので、疑問点や質問事項は必ず聞くこと。 ③中間のまとめ、期末のまとめを行う。 ④歌唱教材：1曲でも多くのレパートリーを持てるよう、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨むこと。 								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 岡村弘・二宮紀子・杉原由利子編著『これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選 50 曲』共同音楽出版社 ② 全音楽譜出版部編『標準バイエル教則本』全音楽譜出版社 (※初心者には、購入必須。) <p>【参考書】川辺 真著『わかりやすい楽典』音楽之友社</p> <p>【教材】五線ノート等、必要な時に配布・添付します。</p> <p>※各自で必ず購入しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要) 								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができるか。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%	2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%	3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%
1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%								
2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%								
3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%								
12. 受講生への メッセージ	<p>オンライン授業が想定されますが、キーボードの練習方法について (紙鍵盤を含む) 鍵盤ハーモニカ・ピアノその他が映せるように工夫してあればアドバイス可能です。「ピアノが弾けるようになる」ことは技術の習得です。したがって、日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じて取り組み、出来る喜びを分かち合いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。熱心に取り組まれることを期待しています！弾き歌いでは、個々の技量にあった、より多くの曲に触れてほしいと思います。</p>								
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	鍵盤で“ド”の位置を理解しておくこと。						
		事後学習	各自の目標 (初級：音符と鍵盤の一体化、中級：楽譜に忠実に、上級：表現力のある演奏を目指して) を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。						
第 2 回	ピアノレッスン 音楽理論① (音部記号・楽譜について)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。						
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音部記号・楽譜について) に取り組む。						
第 3 回	ピアノレッスン 音楽理論② (音名・変位記号)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。						
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音名・変位記号) に取り組む。						

第4回	ピアノレッスン 音楽理論③(音符と休符)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(音符と休符)に取り組む。
第5回	ピアノレッスン 音楽理論④(拍子とリズム)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(拍子とリズム)に取り組む。
第6回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑤(強弱記号、簡単な楽語)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(強弱記号、簡単な楽語)に取り組む。
第7回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑥(反復記号、装飾音符)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	中間のまとめに向けた復習をする。
第8回	中間のまとめ(音楽理論に関する筆記試験)	事前学習	中間のまとめに向けた復習をする。
		事後学習	各自、期末試験に向けての目標を設定し、それに向けて取り組む。
第9回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 筆記試験返却と解説	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第10回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑦(長音階)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(長音階)に取り組む。
第11回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑧(短音階)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(短音階)に取り組む。
第12回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑨(コードネームの基本)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(コードネームの基本)に取り組む。
第13回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論⑩(コードネームC・F・Gについて)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題(コードネームC・F・Gについて)に取り組む。
第14回	ピアノレッスンと弾き歌いレッスン 音楽理論に関する筆記試験	事前学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。 期末のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
		事後学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。これまでに学習した音楽理論について復習をする。
第15回	期末のまとめ(ピアノ弾き歌いと実技発表・筆記試験返却と解説)	事前学習	期末のまとめに向けた課題曲を練習する。 期末のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
		事後学習	実技の復習、これまでに学習した音楽理論について復習をする。